

前田病院だより

Maeda Hospital News

令和 2年 4月発行
No. 57
前田病院広報



病院理念

心・信・真

《安心と信頼の医療を真心こめて》

新入社員を迎えて

4月1日(水)に2020年度・医療法人幸善会前田病院入社式を執り行い、今年度は17名の新入社員を迎えました。その日は、2月ころから始まった新型コロナウイルス感染症騒動が、いよいよ佐賀県にも近づいて来ようとしており、時間短縮で行いました。その中でも前田利朗理事長より、「この時期に入社したことにより、改めて医療従事者としての自覚を持ってほしい。体調不良の時は無理をせず、しっかり治すことが大切です。透析医療を始めて30数年経過し、今では日本に誇れる透析医療機関となった前田病院職員として仕事に頑張ってもらいたい。」また前田麻木院長より、「わからないことは聞いて、しっかりとメモを取る習慣を身に着けて、初心を忘れずに頑張ってください。」との訓示をいただきました。次に新入社員代表より、「世間のコロナウイルスの暗いニュースに負けず、患者さんのために何ができるか考え行動し、私たちにできることに努めたいと考えています。」と抱負の言葉を述べてもらいました。その後は、「同期入社の子供たち」「社会人としての心構えの習得」をテーマにした当院の新人研修プログラムを計画していましたが、こちらも必要最小限の内容となりました。その中で、昨年の新入社員から今年の新入社員へメールを送るコーナーでは、心配と不安いっぱいの入社時だったけど、様々な楽しい行事もあり、充実した1年間を送り成長していくことができたとの激励を受けて、安心した表情を見せていました。新入社員は、最後に辞令交付を受けた後、各部署へ配属されました。

今年は大変な時期になってしまいましたが、これは医療従事者として大変貴重な経験となると前向きに考え、入社時に掲げた目標を達成すべく頑張ってもらいたいものです。

2020年4月吉日 前田病院 統括部長 村岡利和



前田病院

〒848-0027 伊万里市立花町 2742-1
TEL0955(23)5101 FAX0955(23)3315 腎センター直通 TEL0955(23)8835
HP: www.maeda-imari.or.jp



天神オーバーナイト透析&内科

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-2-20 天神幸ビル 1階
TEL092(753)8373 FAX092(753)8371
HP: www.kouzen-tenjin.or.jp

病床転換のお知らせ

理事長 前田利朗

今年度、当院の事業の中で大きく変化することがあります。それは、「介護療養型医療施設」を廃止して「医療療養病床」へ転換することです。2007年の新病院開院以来、介護病棟は前田病院の医療という大きな支えの下に、手厚い介護を提供してきました。個室対応によるユニットケア型の介護方式は、特別養護老人ホームを除き、当時病院としては国内に3施設しかなかったもので、利用者には終の棲家として最期の時を過ごしていただくことを目指したものでした。しかし、国の医療経済の破綻から、厚労省は経費のかさむ介護療養病床の廃止に踏み切りました。このような情勢の中、近隣地域で医療療養病床の需要が高まっていることを考慮して、当院では4月1日より介護療養病床を医療療養病床に転換いたしました。地域の皆様方には、ご迷惑をおかけすることになりますが、どうぞご理解を賜りたく存じます。



介護病棟最後のお楽しみ会

病棟師長 萩原 みず穂

令和2年3月27日、3階介護病棟にて「お楽しみ会」を開催しました。

今回はスタッフによる「日本舞踊」と「太鼓と笛」「三味線」そして「手品」を入居者さんに披露させていただきました。きっかけは3月末で退職された浦さんの日本舞踊をもう一度見たいという入居者の要望から実現しました。着物として民族衣装のような華やかな衣装で、素敵な踊りをみせてもらい、入居者さんだけでなくスタッフもとても感動しました。そしていつもはフラダンスで楽しませてくれる宗主任も今回は三味線での演奏。春のこの時期の「さくらさくら」の曲に皆こころ和みました。横田さんの手品は3病棟の伝統芸。相変わらずの盛り上がりでしたよ。3病棟は3月31日をもって介護病棟を廃止し、4月から医療病棟へと転換します。これまで様々な行事を行ってきましたが、入居者さんの笑顔を見ることでスタッフも笑顔になり双方が楽しい時を過ごせたと思います。



2020年度 新入社員紹介

柳 ひかり (看護師)

この4月より、はれて看護師として働くことになりました。これまで学んだことを活かし、また更に患者さんとの日々の関わりを大切にしながら、看護とは何か模索しながら励んでいきたいです。



松山拓未 (臨床工学技士)

今年長崎の大学を卒業し、当院で働かせて頂くことになりました。社会人や臨床工学技士としても未熟で、ご迷惑をかける事も多々あると思いますが、皆様から信頼していただけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



今村修一郎 (作業療法士)



業務に慣れていくうえで、迷惑をかけることがあると思いますが、より早く先輩方に追いつき、日々向上心を持って取り組んでいきます。ご指導よろしくお願いします。



横田一純 (准看護科学生)

初めての事ばかりで不安や戸惑いもありますが、笑顔で明るく頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけしますが、ご指導よろしくお願いします。



伊万里ハーフマラソン 2020 での出来事

統括部長 村岡利和

新春恒例の伊万里ハーフマラソン 2020 が 1 月 13 日に開催されました。当院からも毎年 20 名前後の職員が自分への挑戦として参加しています。私はいろいろと言いつけて応援です。今年も例年通りの伊万里駅前交差点でゴール間近の走者に声掛けをしていました。そして職員出場者で早くにゴールした齋藤裕樹君(理学療法士)と石橋諒一君(看護師)も合流し、後に続く前田病院職員へのラスト声援を送っていた時に、若い女性ランナーが交差点内で突然倒れました。そのランナーは立ち上がって再び走り出す様子がなかったので、すぐさま石橋君が駆け寄り、状態確認をしたところ心肺停止状態だったので大声で「救急車をお願いします！」と叫び、すぐに心臓マッサージを始めました。近くにいた警察官も寄ってきて周辺確保を始めました。私も「A E Dの手配を！」と叫び齋藤君と共に近くの伊万里駅に走りました。M R 駅ではなく J R 駅にあったので、齋藤君がダッシュで届け、除細動を実施し、心臓マッサージを継続していたらランナーは徐々に意識を回復してきて本人確認もできました。その後は救急隊へ引き継ぎ、ドクターヘリで佐賀大学病院へ搬送されました。翌日には、深浦伊万里市長が直々に来院され謝辞を述べられました。その後、ランナーの父親からも連絡があり、一命をとりとめた感謝の言葉をいただきました。後日、ご本人さんも退院快気のあいさつに見えました。広報伊万里、佐賀新聞、ケーブルテレビの取材を受け、伊万里消防本部から表彰を受けました。突然のことでしたが医療従事者として、前田病院チームとして心肺蘇生から救命措置ができたことに喜びを感じました。



外来診療担当医師

受付・検査時間 8:30～12:00 / 14:00～17:00

診療時間 9:00～12:30 / 15:00～17:30

*休診 土曜午後、日曜、祝日

診療科目	月	火	水	木	金	土(午前)
腎臓内科	野中枝理子 (午前)	前田篤宏 (10時半～12時) 野中枝理子(午前)	宮園素明(午前) 野中枝理子(午前) 林和歌	前田篤宏 (10時半～12時) 林和歌	前田篤宏 (10時半～12時) 林和歌	前田篤宏 (10時～12時) 九州大学医師 (月2回)
血液内科	松崎美和子 佐賀大学医師(15時～)	松崎美和子	松崎美和子		松崎美和子 久保田 寧	松崎美和子 (月1回)
呼吸器内科	前田智美 (10時～12時)	前田智美 (14時半～16時半)	木下義晃	前田智美 (10時～12時)	前田智美 (14時～16時半)	坂本篤彦 (月2回)
漢方内科			栗山一道 (15時～)	栗山一道 (午前)		
糖尿病内科	前田麻木	前田麻木		前田麻木	前田麻木 (午前)	前田麻木 松田やよい (月1回)
脳神経科					一ノ瀬誠 第2・第4 ※予約制 (14:00～17:00)	
消化器内科	菊地宏樹	菊地宏樹 江崎幹宏 ※月1回 (13時～17時)	冬野雄太 (9時～16時)	菊地宏樹	菊地宏樹 古賀章浩	菊地宏樹 (月2回)
整形外科	副島整形より (午前)	副島整形より (午前・月2回)	副島整形より (午前)	副島整形より (午後)		
	※受付時間(11:00まで)			(受付16:00まで)		

*上記担当医師につきましては、都合により診療時間等の変更が生じる場合がございます。

*担当医に関するお問い合わせは、TEL0955-23-5101 までお問い合わせください。

編集後記

春爛漫の時を迎えたというのに、外出は控えなくてはならない…自然が何より好きな私にとってはとても悲しいことです。しかし一時も早くコロナを終息させるためには今が我慢の大切な時です。そうすれば終わると信じて自宅で楽しみを見つめましょう。年を重ねるごとに読書量が減っていきませんが、気になっている本は買っておくので読んでない本は増え続けます。何もすることのない休日は静かな音楽でも流しながら読書を進めることにしましょう。それから最近は手紙を書くことがなくなりました。スマホで済ませてしまっているからです。絵手紙を出してみようかな…皆退屈しているでしょうから、喜んでもらえるかもしれませんね。医療の現場からコロナの感染者を出すと大変です。厳重な注意を払い診療していますが、気を抜くことなく終息するまで職員一同で、心を合わせて頑張ります。早く終われ！！と祈るばかりです。

中村